

令和 5 年度 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名： 免疫におけるエピジェネティックメモリーのシングルセル解析
研究開発代表者名： Shin Jae Woo（国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー）

本課題は、アレル特異的相互作用を解析する **Single-Molecule Chromatin Capture (SMC)** 法の開発、シングルセルにおける多方向性染色体相互作用の解析法の確立、アレル特異的メチル化 **DNA** の確立といった先端的ゲノム構造解析法の開発に取り組んだ。代表者のシンガポールへの異動により、研究遂行に困難な部分がありながらも、**SMC** 法の開発を継続し、ライブラリー調整やデータ解析における基礎的な部分の開発は進捗した。

一方で、研究開発課題名となっている、「免疫におけるエピジェネティックメモリーのシングルセル解析」に至ったという印象は薄い。大部分はバルクレベルでの予備的な検討に留まり、カナダ側の検体を利用したエピゲノム解析に至らなかった点は残念である。また、カナダ側との交流実績および研究成果の発表についても十分に進展したとは言い難い。本研究の成果のみで論文発表までは至らなかったが、シングルセルレベルでの **SMC** 法の開発はシンガポールで継続しているとのことなので、今後、論文として発表されることを期待する。一部を除き、計画した成果と同程度の成果が得られたと評価された。